

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公表番号】特表2008-545588(P2008-545588A)

【公表日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2008-513605(P2008-513605)

【国際特許分類】

B 6 5 B 31/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 31/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一方向バルブ要素を有する保管バッグから空気を除去するための真空装置であって、流入開口部を有するハウジングと、

前記ハウジング内で包囲されるとともに前記流入開口部と連通する気流発生ユニットと

、
前記流入開口部のすぐ近くで前記ハウジングに結合される第1フラットパネルと、前記保管バッグを収容するための間隙を間に設けるように該第1パネルにほぼ平行に接続された第2フラットパネルとを有する支持ブラケットと、
を含む真空装置。

【請求項2】

さらに、前記保管バッグとの気密境界面を設けるように前記流入開口部の周縁部に配置されたガスケットを含む、請求項1の真空装置。

【請求項3】

前記第1および第2パネルの間の前記間隙に前記ガスケットが突出する、請求項2の真空装置。

【請求項4】

前記第1および第2フラットパネルがほぼ同じ形状であり寸法的に対応する、請求項1の真空装置。

【請求項5】

前記第1および第2フラットパネルがほぼ矩形であり、対応の第1長縁部に沿って接続され、

実質的に前記対応の第1長縁部に沿って延在するU字形部分により前記第1および第2フラットパネルが接続される、

請求項4の真空装置。